



Creative Application A13

美のメディア論2：これからのメディア社会

2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

資料の見方

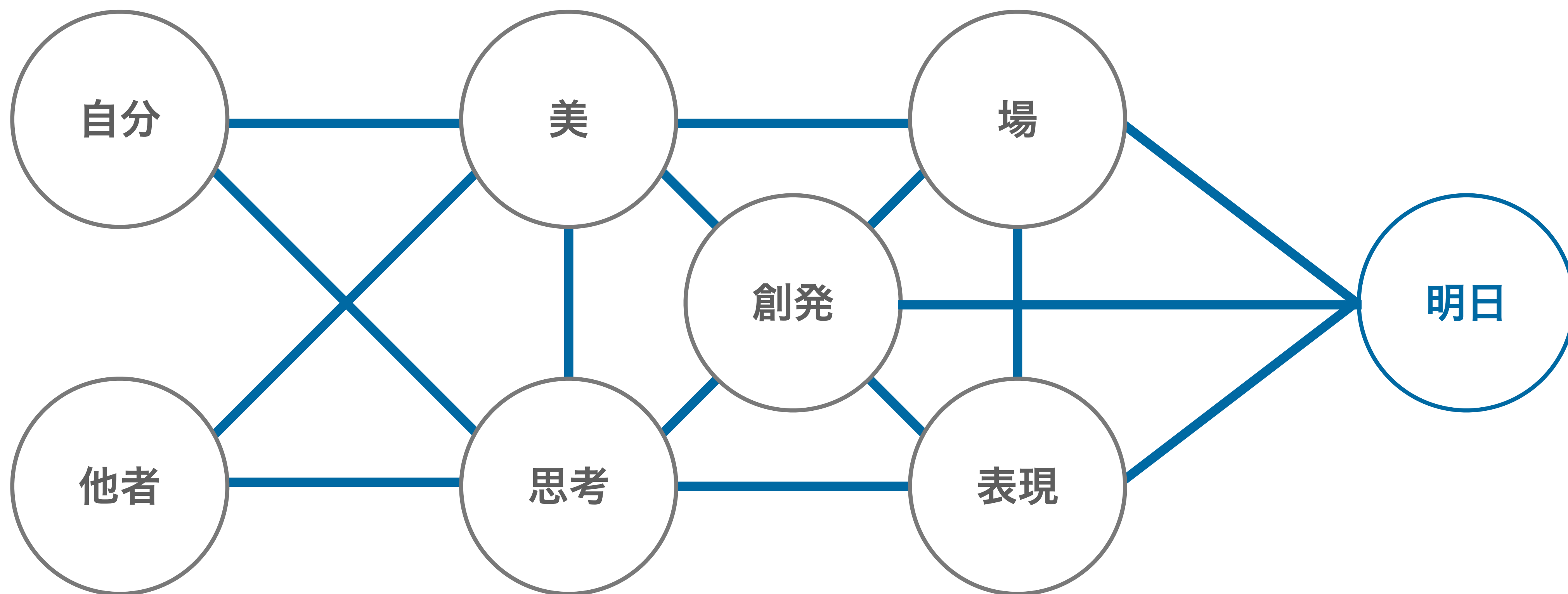
テーマに沿った項目
(座学で説明します)

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

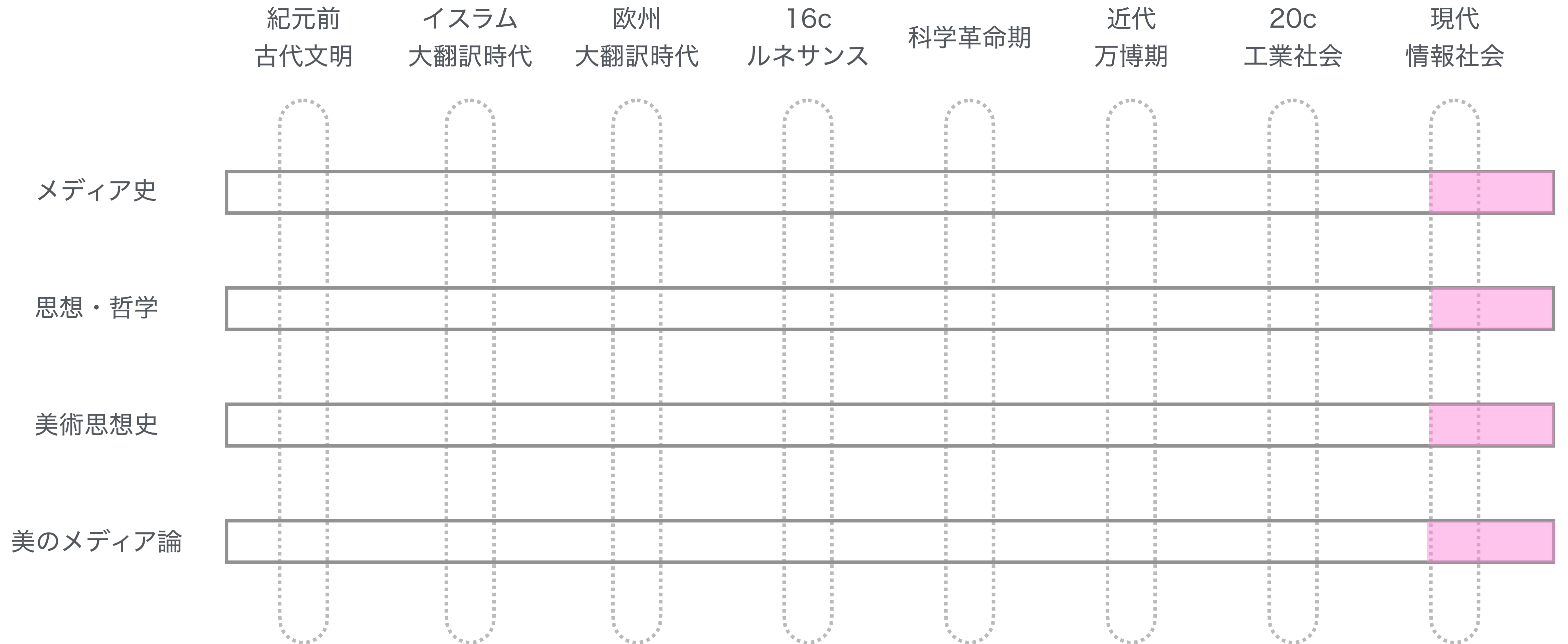
本日のテーマ

- ▶ **明日のメディアと社会を志向/思考/試行する**

関連要素図

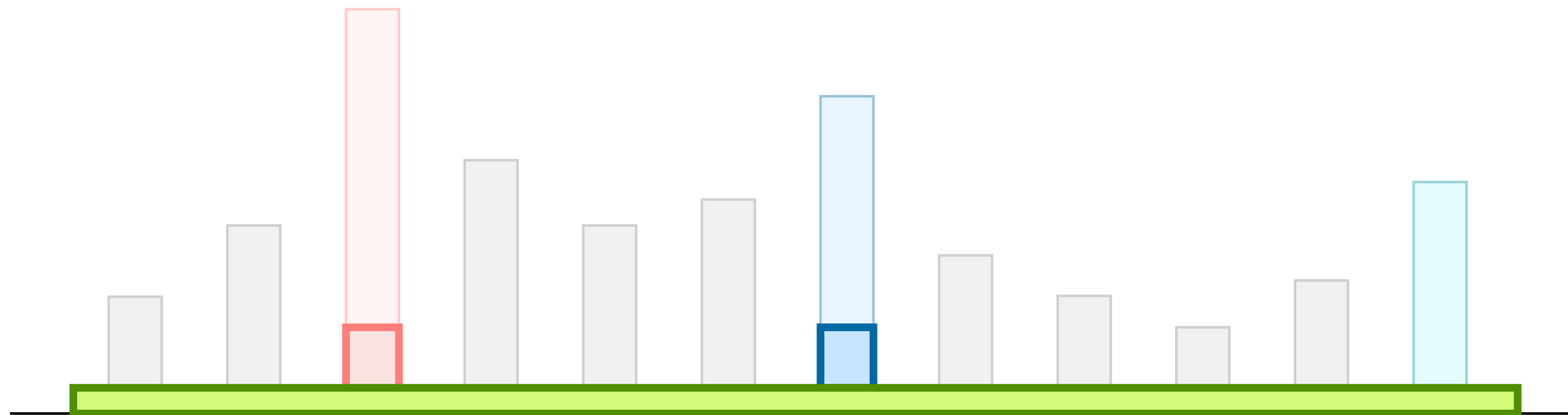


演習の領域



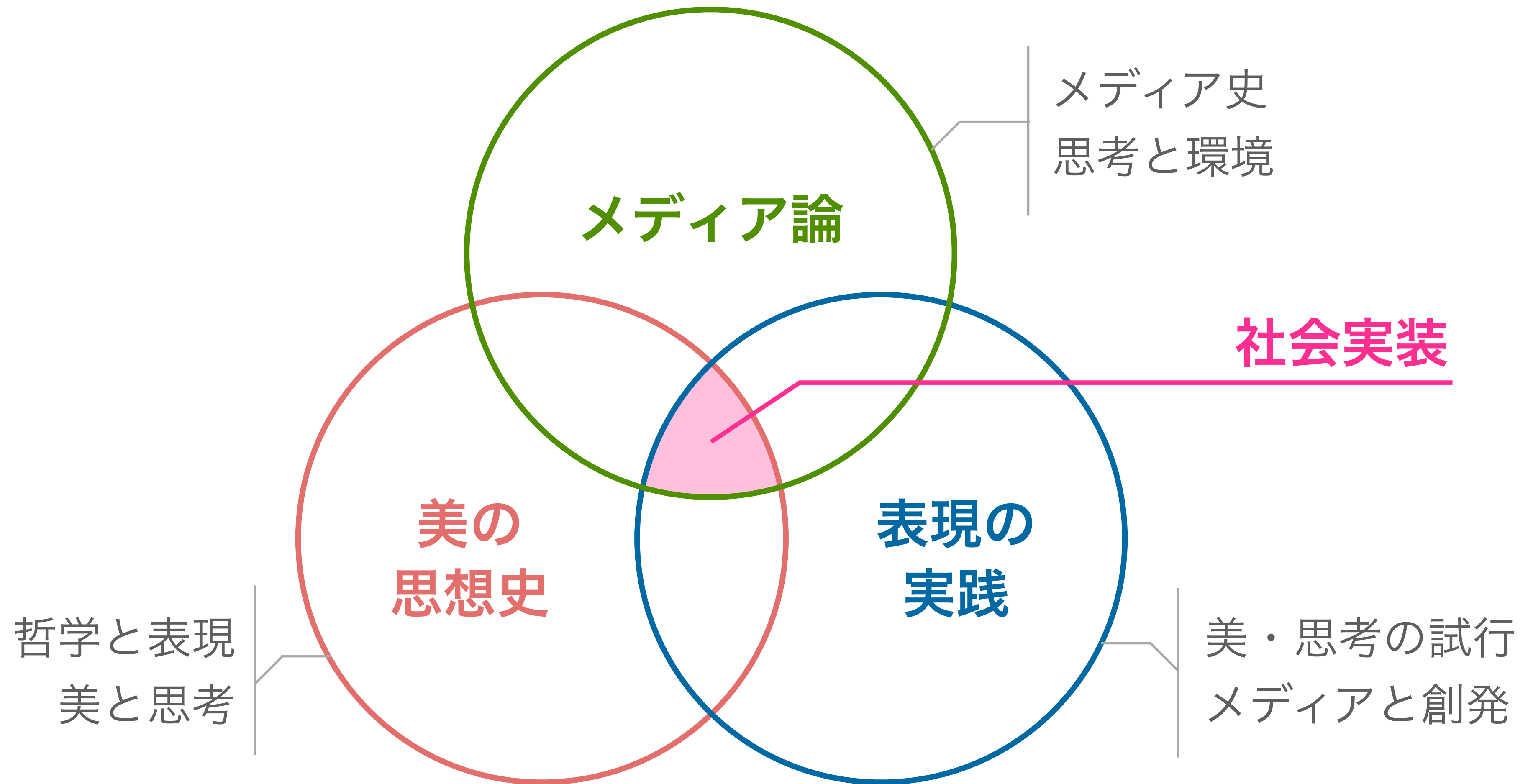
2つの役割

2つ以上の専門性への導入

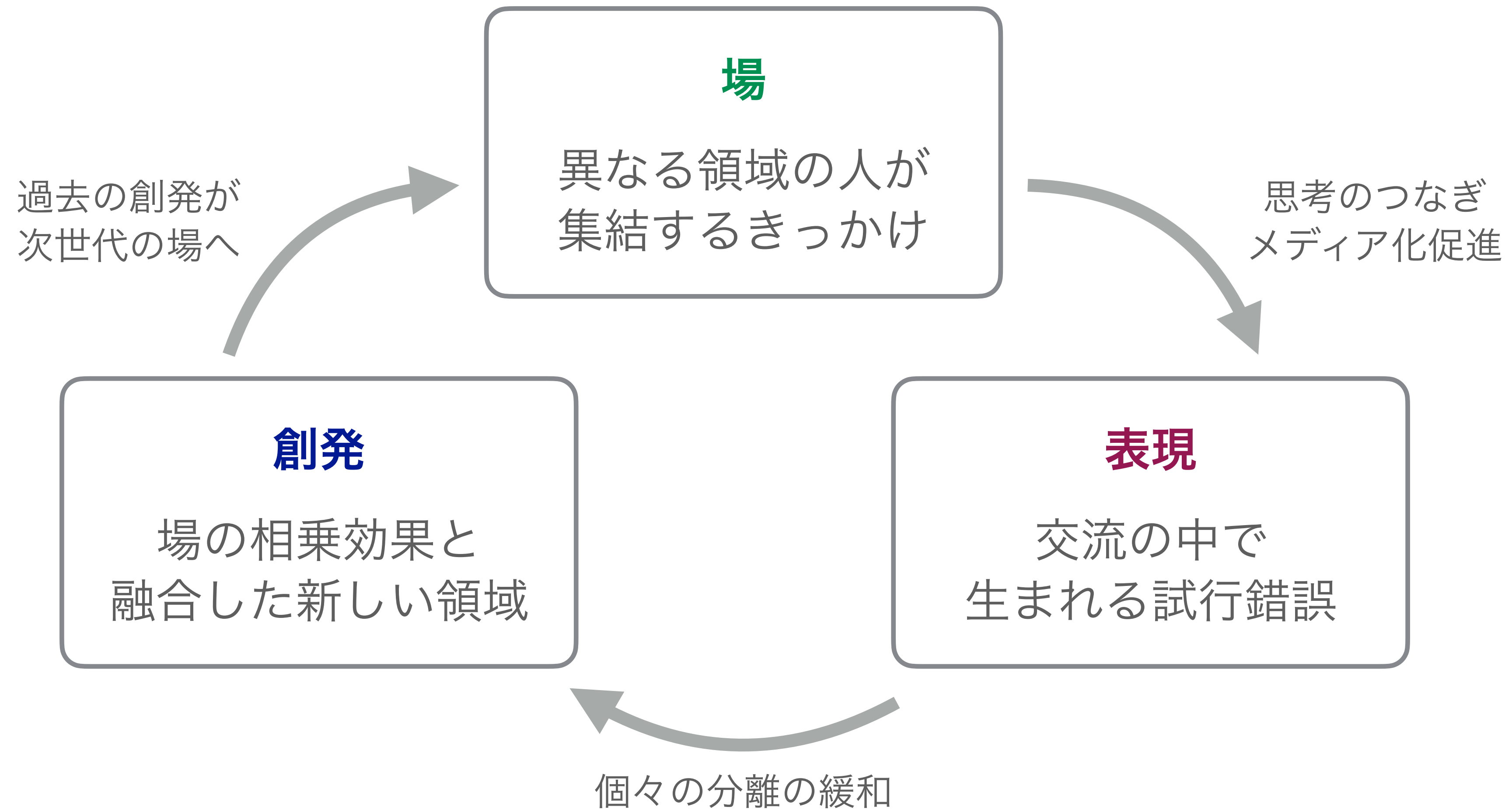


専門性をつなぐ思考

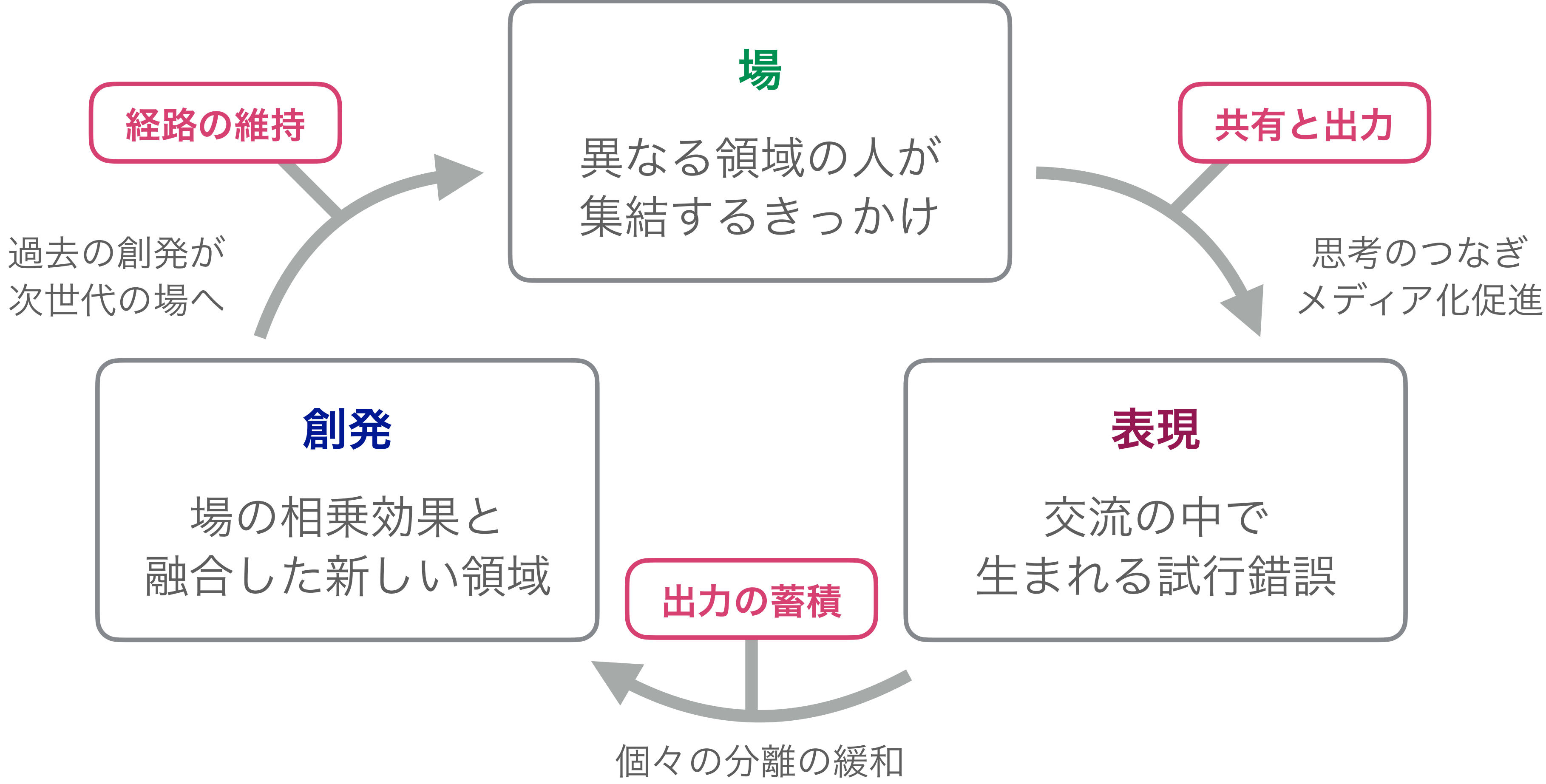
分野融合と社会実装



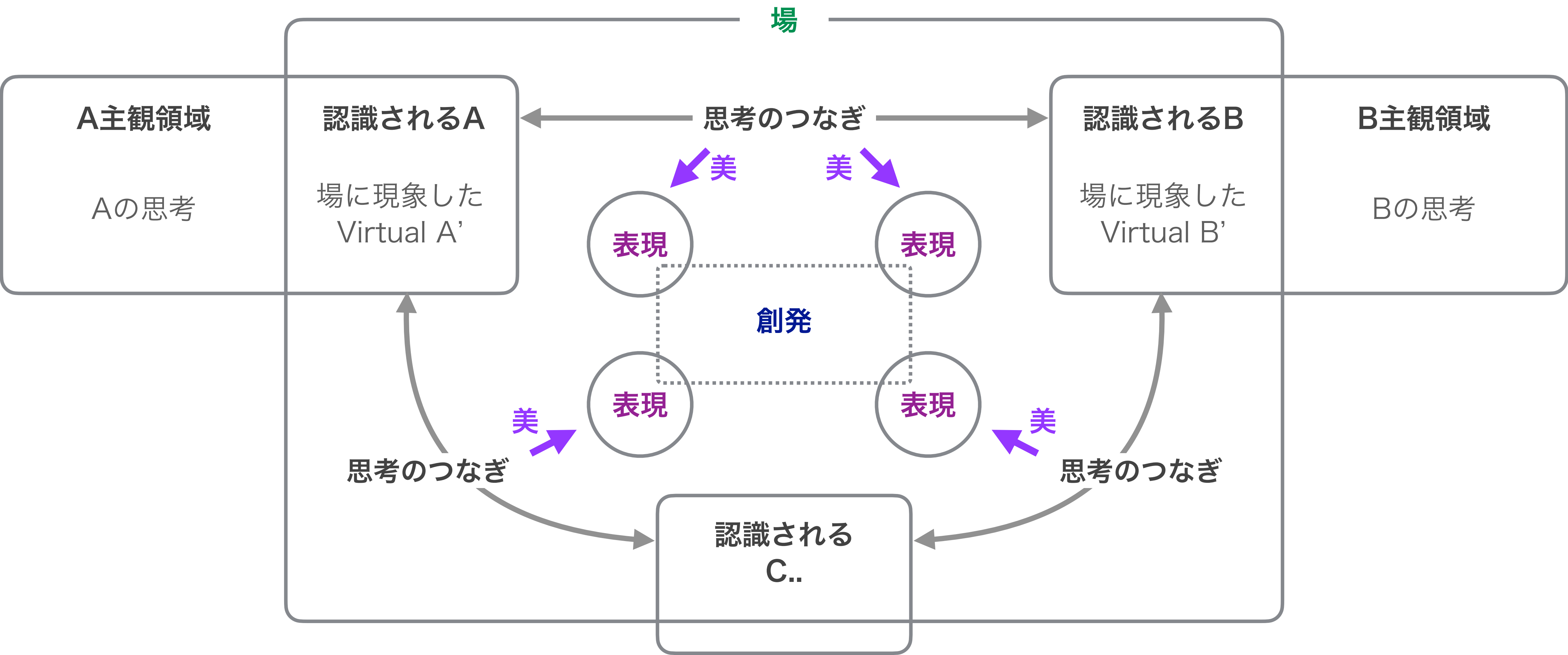
メディア・サイクル



メディア・サイクルと継続性



メディア・モデル(2024 渡邊)



美とメディアと社会1：インターネット社会

関連キーワード

- ▶ **デジタル通信技術というメディアの場**
 - ▶ 受発信の爆発的解放
 - ▶ 主観同士の隔絶 → **思考のつなぎ**の必要性
 - ▶ 表現の困難さ → **美**の必要性
- ▶ ネット社会以降のメディア表現では
より**思考のつなぎと美意識の重要性が増す**

美とメディアと社会2：Virtualと存在の社会

関連キーワード

- ▶ **人間とVirtual領域と物質領域の関係性の変化**
 - ▶ Virtualのリアリティの模索
 - ▶ 存在の認識の変化の議論
 - ▶ 物質的豊かさと価値的豊かさ
 - ▶ 新たな身体性の模索
- ▶ **物質 + Virtualから人間性の豊かさを考える**

明日のメディアと社会を志向/思考/試行する

- ▶ **メディアで社会をサイクルさせる**
 - ▶ メディアの場を形成し各個を尊重する
 - ▶ 個人の思考を主張しあいつつ, つなぐ
 - ▶ 美の主観性/普遍性を思索し社会へ実装する
 - ▶ メディアサイクルを志向して活動する

CreApp-Bのリンク12

- ▶ **つくったものが社会に与える貢献を考える**
 - ▶ たとえ対象が1人でも小さな社会である. その影響に思いを馳せる
- ▶ 貢献しなくても作ること自体に価値があるので盛んに活動しよう
- ▶ メディアの観点では, 伝わるか, 貢献するかを考えてもらえると嬉しい
- ▶ わずかでも(自分含めた)誰かを喜ばせられたならば最高である

本日の談義・考察一助

- a. 各自のマルチメジャーについて考えて、挙げてみてほしい
- b. 主観性の視点から、人の話を聞く難しさを考えてみる
- c. 自分の志す分野に着目したとき、
今後の社会においてどんなメディア化を推進すべきだろうか
- d. 上記に限らず、自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

次回予定

- ▶ **中間総論**

参考文献

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
4. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
5. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
6. 藤田 一照, 山下 良道, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
7. 永井 均, 藤田 一照, 山下 良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
8. 森田真生, 「数学する身体」, 新潮社, 2018
9. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
10. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018
11. 東 浩紀, 「動物化するポストモダン」, 講談社現代新書, 2001